

特集

# 「ものづくりのまちおかや」の伸びやかな発展をめざして 次世代に向けた想像(おもい)を創造(かたち)に

製造業は、わがまちの基幹産業。つまり工業の活性化は、たくましいおかやへの最優先課題です。安全・安心のくらしも、輝く子どもも育成も、まちの足腰を強化し体力をつけてこそ伸展します。

市は、市内製造業の現状と課題に向き合い、積極的な支援を続けるなか、この春「岡谷市工業活性化計画」を策定しました。ものづくりへの誇りと自信と技術を未来へとつなぎ「次世代を創造するものづくりのまち」をめざす、5年間のおかやの産業振興戦略です。そこで今月は、目標に向かつて走り出した計画を、がんばる企業の積極姿勢をとおして紹介したいと思います。

早わかり!

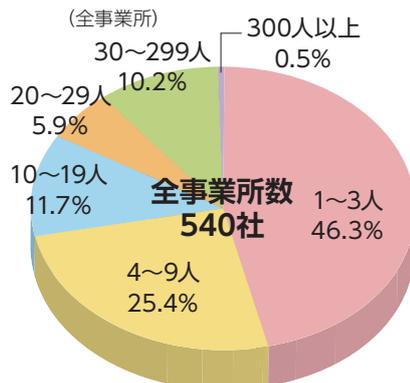
おかやの製造業のいま

市内には、従業員数が少ない小規模工場がたくさんあります。なかでも、従業員3人以下が全体の約半数を占めているのが大きな特徴です(図1)。

大多数の企業が金属部品の加工業をしていて、平成20年のリーマンショックの影響を強く受けました。しかし、苦しいなかでも、そのほとんどが不屈の精神で技術を磨き、活路を切り開く挑戦を重ねてきました。市も、それらの技術や技能を広くPRするなど、全力の支援を続けるなか、低迷期を打開し、回復してきているという状況にあります(図2)。

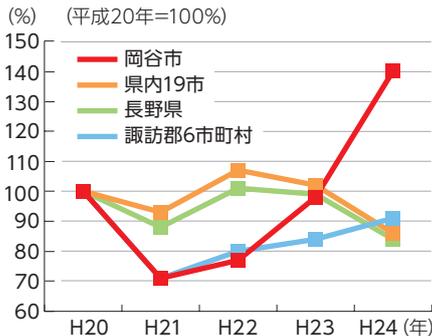
ただし、経営者の高齢化も進み、事業の存続や継承についての悩みが増加傾向にあります(アンケート結果より)。

図1: 従業者規模別事業所数の構成比



資料: 長野県情報統計課が、平成24年経済センサス-活動調査をもとに集計した数値

図2: 粗付加価値額※の推移



資料: 工業統計調査 (H20~24)・平成24年経済センサス-活動調査  
※従業員が4人以上の事業所を対象とした数値

※粗付加価値額とは…生産活動によって新たに生み出される価値の総額のこと、[売値-原価]に近いものです。

# 「岡谷市工業活性化計画」が めざすのは…

中堅企業が成長・発展すること  
で、仕事などの裾野が広がっていく  
とともに、小規模企業も、キラリと  
光る独自の技術や技能を磨き、製  
造業全体が活性化  
されることです。



## 【将来工業都市像】 次世代を創造するものづくりのまち

実現に向けて

4つの基本戦略と20の重点施策で推進!

- 1 産業基盤整備戦略
- 2 経営基盤強化戦略
- 3 新技術・新製品開発支援戦略
- 4 人材育成・確保戦略

20の重点施策のうち、最優先で取り組む8つの施策

- 多様な産業集積を活かした企業誘致
- 工業系用途地域の未利用地や工場跡地の活用の推進および住宅と工場の共生
- 新規創業支援
- 事業承継支援
- 企業訪問などによる情報収集強化と販路開拓のマッチング支援
- 新技術・新製品の開発支援
- 高度技術・技能の伝承およびものづくり人材の技術・技能向上支援
- 未就職者の就業促進やOB人材の活用



## 岡谷工場の開設を 関東への足がかりに

本社は京都です。福山(広島県)に  
主力工場をおき、事業を拡大するな  
か、LEDセンサーほかLEDを応  
用した商品の開発により、近年、関  
東のお客さまからの需要が拡大して  
いました。そうした状況を受け、対  
応の利便性を高めるために、新たな  
生産拠点を探していました。

東北も視野に検討しましたが、関  
東圏と中京圏、どちらにも近いとい  
うのがこの地域のメリット。誘致に  
際しての資金援助は、ほかでもやっ  
ているのでめずらしくありませんが、  
積極性、スピード感、きめ細かな対  
応で、岡谷市  
は抜きん出て  
いました。

岡谷工場  
は、本格稼働  
を始めた段階  
ですが、今後  
も大幅な用  
途拡大が期  
待されている  
LED市場に



エーシック(株)  
専務取締役  
加藤 隆生さん  
今井1605  
☎21-1122

において、新たな価値を生み出して  
くには、他業種との連携が欠かせな  
いと考えます。その点、製造業の集  
積地である岡谷は、とても都合がよ  
く、大きな可能性を感じます。わた  
し自身のことでいえば、工場の取得  
以降、とりあえずと単身で仮住まい  
をしてきましたが、無事立ち上げが  
済みましたので、岡谷での新生活を  
スタートさせるべく、家族を福山か  
ら迎え入れる準備をしているところ  
でもあります。

日本の製造業は、まだまだこれか  
ら、いくらでも勝負できます。楽観  
しているわけではありませんが、今  
のうちに、汗を流してやるといふ姿  
勢を若い世代に示し、技術力をつな  
いでいくことで、ステップアップへの  
責任を果たしていくことができれば、  
活路は開けるはずです。この地で、  
しっかりと利益を出すために、成功す  
るために、会社は努力を、従業員は  
活躍を…みんながんばれば、必ず  
うまくいくと信じています。まわり  
の努力とともに、地域の協力とも  
に、よりよい循環をつくっていきたい  
ですね。

DLB工法による抜きダレス成形品



現在の工場規模では、大手の二丁にスピーディな対応をしていくのがむずかしくなり、機動力をいっそう充

金属のプレス加工とプレス用金型の設計・製作をしている会社です。10年ほど前から、金属材料の性質を研究、新工法への挑戦などを理論的に続けてきたことで、弱電(通信機器や情報機器に用いる)部品から自動車関連の厚板部品へ業態をシフト。広く浅くよりも、得意分野を掘り下げるといふ選択が、高効率のビジネスを展開していくステップになりました。

汎用プレス機を用いて、破断やダレの極めて少ない高精度・低コストのせん断加工技術を開発、さらには応用が実を結び、ギヤ状など複雑な形状部品にも究極の断面品質が確保できるようになったことにより、需要をいっそう拡大することができました。

産業基盤整備戦略  
工場などの  
新・増設支援

工場を新設します！



(株)スギムラ精工  
代表取締役  
杉村 博幸さん  
長地御所2-13-32  
☎28-2478

実させていくためにも、量産工場が新たに必要と考えていたところ、タイミングよくおかや鶴峯工業団地の公募があり、選定していただくことができました。

市外や海外へ出ない理由は、おかの「ものづくりの環境のよさ」にあります。狭さはハンディではありません。コンパクトな集約はスピード感を生みます。もちろん従業員の利便性も高いです。金属加工において、日本が付加価値を示せる分野は、まだまだたくさんあると思っています。

これから設備を整えるなか、独自技術の開発と人材育成にも注力し、5年先、10年先のビジョン実現と成功のため、努力していきます。

造成工事が進む  
おかや鶴峯工業団地



産業基盤整備戦略  
新規創業支援

家具工房開設

事業主となりました



SCALE WORKS  
代表  
花岡正太郎さん  
大栄町2-5-15  
☎55-4682  
携帯090-4460-3871

平成23年6月、机、椅子、テーブルなど、家具をつくる工房を新設しました。以前は、松本の木工メーカーで、店舗(ディスプレイ)用など、比較的寿命の短い家具づくりを担当していましたが、数年で廃棄されるものよりも、愛着を持って長く使ってもらえる住宅家具が作りりたい、と新規創業しました。

必ずしも岡谷で起業をと決めていたわけではありません。諏訪湖のまわりなら...という思いで、あちこち行政に相談に行ったところ、岡谷市のレスポンスがダントツで、対応が早いだけでなく、親身に一緒に動いてくれもして、いい場所に出会うことができました。家賃補助などの手厚い支援金も魅力でした。自分の体験から、県外の友人に起業の相談

この地域には、ものづくりの素地があります。そうした環境なので、起業に対しても、周囲の理解が得られやすく、機械を譲っていただいたり、仕事を紹介していただいたり、応援してくださる先輩や、チームが組めるような仲間がいて、恵まれていると思います。

そうした仲間と協力し、これからもっと、仕事の幅を広げていきたいです。



新技術・新製品開発支援戦略  
ものづくりチャレンジ  
を支援

オリジナルリテイデ

挑戦中！

父が昭和37年に創業した会社を継いで、工作機械の部品加工や治工具の製作などを行ってきましたが、リーマンショック以降、低価格な海外製品との競争が激化し、従来の仕事だけに依存してはいけけない、もっとオリジナルな分野で挑戦をしなくては、と考えるようになりました。

諏訪のエリアでは、3次元加工の仕事をしている会社がありません。たので、まずは3Dスキャナー、3D CAD・CAMなどを用いて、平成23年からは「山モデル」の製作をはじめました。



係団体などの独自の用途や学習用にも対応。どんな場所のどんな山でも、希望のままに再現しています。



(有)佐藤製作所  
代表取締役  
佐藤 有司さん  
川岸中2-1-5  
☎22-7503

山国信州で育ち、子どものころから紙粘土で地形を再現したりしていたので、「山モデル」に行き着いたのも、自然な流れかもしれません。現在は、喜んでもらえることがありがたいと割り切り利益を求めてはいませんが、認知が広まれば、仕事の発掘につながるかも、需要を限定しない実用品への応用も期待できるはず、と夢を求めて、楽しくやっています。

新商品を開発したいという思いがあっても、コストやリスクを考えると簡単には踏み切れません。小さい工場にとって、試作開発費の一部を補助してもらえた行政の支援は、大きな後押しになりました。

何もやらなければ、ゼロ！挑戦をあきらめずに、やっていこうと思います。



経営基盤強化戦略、人材育成・確保戦略  
高度技術の伝承と  
技能向上を支援

3Dプリンタ講習会

5月14日～6月11日(全5回)

【参加者のこえ】

(株)平出精密 社長室長

齊藤 伊敏さん

会社で3Dプリンタの導入を検討しています。仕事に幅が出ることを期待してのことです。実務では若い世代中心に作業するようにせよ、自分も勉強しておく必要がある、と参加しました。

百聞は一見にしかずですね。実際にソフトを使用し、考えなが

ら作業を体験することで、理解が深まります。資料や口頭の説明だけでは、こっちはいきません。市の積極的な支援に感謝しています。今後、こっした機会を大切に、会社のステップにしていきたいと思っています。



「想像(おもい)」を「創造(かたち)」に！！

アベノミクスの第3の矢、日本再興戦略では「積極姿勢に転じた企業を大胆に支援していく」とし、企業経営者には、決断し、行動し、世界で戦う覚悟を持ってチャレンジすることを求めています。

市としても、本計画を着実に推進し、工業振興と地域経済の活性化に向け、小規模企業の下支えも大切にしながら、企業のチャレンジ・課題解決を全力で支援します。

計画の詳細や、中小企業への支援施策内容など、お気軽にお問い合わせください。